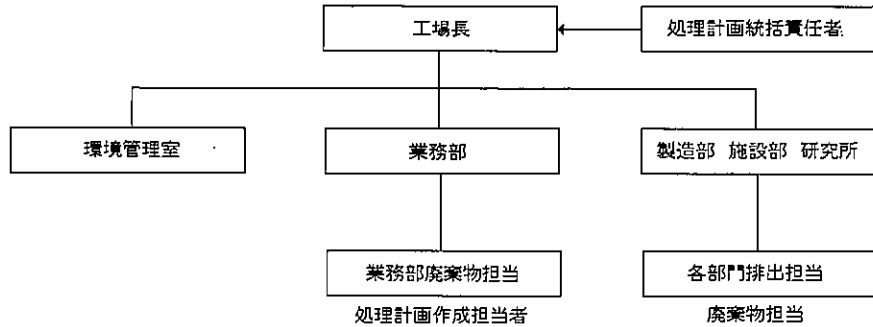


産業廃棄物処理計画書		令和 4年 6月 1日
静岡県知事 川勝 平太 殿		
提出者		
住所 静岡県富士市入山瀬一丁目2番5号		
氏名 王子キノクロス株式会社 富士工場		
取締役 富士工場長 吉澤 克明		
電話番号 0545-71-3132		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	王子キノクロス株式会社 富士工場	
事業場の所在地	静岡県富士市入山瀬一丁目2番5号	
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	不織布製造	
② 事業の規模	7,651百万円	
③ 従業員数	141名	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚泥 自社で中間処理（脱水） ⇒再生処理業者へ委託⇒原料として再資源化 ・ 廃プラスチック類 再生処理業者へ委託⇒原料として再資源化 ・ 木くず 再生処理業者へ委託⇒木材チップとして再資源化 ・ 廃油、廃酸、廃アルカリ 再生処理業者へ委託⇒原料として再資源化 ・ 廃蛍光管類 再生処理業者へ委託⇒原料として再資源化 ・ 特定有害汚泥 再生処理業者へ委託⇒原料として再資源化 	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2021 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック、木くず、廃油、廃蛍光管、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物、特定有害汚泥
	排出量	1,382.25t	211.23t
	（これまでに実施した取組） ・マシン歩留の向上。 ・汚泥排出量の過半（白物）を有価売却化。 ・廃プラスチック、木くず、廃油、廃蛍光管、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物の分別回収・有価売却促進中。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック、木くず、廃油、廃蛍光管、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物、特定有害汚泥
	排出量	1,350.00t	210.00t
	（今後実施する予定の取組） ・マシン歩留の更なる向上。 ・排出汚泥の分別（白物・色物）徹底による有価売却割合増大。 ・廃プラスチック、木くず、廃油、廃蛍光管、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物の分別回収を更に促進。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・廃プラスチック、木くず、廃油、廃蛍光管、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物は分別回収を促進中。 ・汚泥の白物（有価売却可能）と色物の分別。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・汚泥の色物の種類別分別回収（一部色物は有価売却可能）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック、木くず、廃油、廃蛍光管、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物、特定有害汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,048.96t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・汚泥脱水処理施設の脱水割合の向上。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック、木くず、廃油、廃蛍光管、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物、特定有害汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,050.00t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥脱水処理施設の脱水割合の更なる向上。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック、木くず、廃油、廃蛍光管、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物、特定有害汚泥
	全処理委託量	195.42t	211.23t
	優良認定処理業者への処理委託量	106.76t	132.35t
	再生利用業者への処理委託量	190.94t	209.48t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
(これまでに実施した取組) (これまでに実施した取組) ・汚泥の過半(白物)を有価売却化。 ・廃プラスチック、木くず、廃油、廃蛍光管、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物の分別回収・有価売却促進中。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック、木くず、廃油、廃蛍光管、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物、特定有害汚泥
	全処理委託量	190.00t	210.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	105.00t	130.00t
	再生利用業者への処理委託量	190.00t	210.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) ・排出汚泥の分別(白物・色物)徹底による有価売却割合増大。 ・廃プラスチック、木くず、廃油、廃蛍光管、安定型混合廃棄物、管理型混合廃棄物の分別回収を更に促進。		
※事務処理欄			